

一人ひとりに合った方法でやってみる避難訓練
～医療的ケア児（者）と家族の「もしも」の備え～

1. 目的・実施方針

地震発生時における医療的ケア児（者）及びその家族の状況に応じた避難行動、必要な備えを確認する。今回の訓練は、医療的ケア児（者）と家族の意向を尊重するとともに、健康状態や生活状況等を踏まえ、家族のみの参加や途中参加・途中退室を可能とする。

2. 日時

令和8年11月7日（土）13：30～16：00 ※庁舎での訓練開始は14：00～

3. 場所

延岡市役所本庁舎

4. 訓練の想定

令和8年11月7日（土）13：30に震度6強の地震が発生。気象庁より「津波の心配はない」との発表があったが、地震の影響で停電が発生。道路への大きな被害はないため、自家用車による避難が可能な状況。医療的ケア児（者）の家族より、医療機器の電源確保のため避難したいとの要望があり、市内で在宅生活を送る医療的ケア児（者）と家族が延岡市役所に避難すると想定。

<訓練の流れ> ※経路（A）：7世帯、経路（B）：3世帯

	時間帯	内 容
1	13：30	震度6強の地震発生 津波の心配はなく、道路への大きな被害はないが、市内で停電が発生
2	13：40	医療的ケア児（者）の家族から「医療機器の電源確保のため避難したい」との連絡を受け、延岡市役所を避難所として開設
3		避難者が自家用車で延岡市役所に到着 （A）南（正面）玄関駐車場に駐車⇒南（正面）玄関から庁内に入る （B）北側ピロティに駐車⇒北側通用口から庁内に入る
4	14：00 ～14：30	非常用電源を使用するため、2階の保健センターにエレベーターを使用して移動※非常用電源に自動で切り替わったエレベーター（低層棟EV1台、西側EV1台）を使用すると想定 （A）南（正面）玄関⇒低層棟EVを使用⇒保健センター （B）北側通用口⇒西側EVを使用⇒保健センター
5	14：30 ～15：15	保健センターで非常用電源を確認、講堂で防災用品等を確認
6	15：15 ～16：00	講堂で意見交換会（訓練の振り返り、災害支援に関する質疑応答）
7	16：00	解散 （A）低層棟EVを使用⇒南（正面）玄関⇒庁外へ出る （B）西側EVを使用⇒北側通用口⇒庁外へ出る

※訓練の進行状況によって、時間が前後する可能性があります。

※医療的ケア児（者）と家族の希望による途中参加、退室を可能とします。

5. 訓練内容

① 避難場所までは「各家庭で考え避難する」

- 自宅から避難先までの経路を確認する
- 避難に必要な物品を確認する
- 避難場所までの移動時間を測定

② 避難場所に集合後は「共通訓練」

- エレベーターが非常用電源に切り替わっていることを職員が確認
- 2階の保健センターに移動
- 保健センターで非常用電源の確認
- 講堂で防災用品の取扱い方法について確認

③ 訓練の振り返り、質疑応答

- 今回の訓練で感じたこと、災害支援に関する質問等